

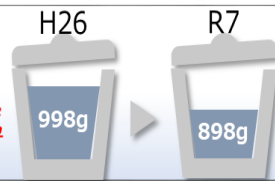
一般廃棄物処理基本計画 事業評価（レーダーチャート）

一般廃棄物処理基本計画では、「ごみの発生抑制の推進」と「ごみ焼却量の削減」に関する目標を設定し、また、基本施策ごとに指標を設定し、廃棄物処理事業全体の事業評価を行い、レーダーチャートを用いて経年変化を把握します。

目標

目標1

1人1日あたりのごみ排出量※10%削減



※ 一般家庭から排出されるごみ、事業者から排出されるごみ、道路清掃ごみの合計

目標2

ごみ焼却量 4万トン削減



※ 家庭系2万トン削減、事業系2万トン削減
1万8千トン-CO₂の減（杉の木128万本分相当）

指標（レーダーチャート）

基本施策	指標名	指標がめざす方向
I	1人1日あたりごみ排出量	少ない
	プラスチック製容器包装分別率	高い
	ミックスペーパー分別率	高い
II	ごみ焼却量	少ない
	資源化率	高い
III	1人あたり年間処理経費	少ない
	廃棄物のうち最終処分される割合	少ない
IV	住民満足度	高い
V	温室効果ガス総排出量（廃棄物分野）	少ない
	エネルギー回収率	高い

一般廃棄物処理基本計画 事業評価（レーダーチャート）

指標（レーダーチャート）による達成状況の比較分析

各項目の実績値

基本 施策	指 標	方向性	基準年度 2014(H26)実績	2022年度 (R4)実績	指数
I	①1人1日あたりごみ排出量	少なく	998g	858g	114.0
	②プラスチック製容器包装分別率	高く	34.4%	40.5%	117.6
	③ミックスペーパー分別率	高く	34.9%	31.5%	90.4
II	④ごみ焼却量	少なく	370,849t	340,093t	108.3
	⑤資源化率	高く	30.3%	29.5%	97.4
III	⑥1人あたり年間処理経費	少なく	9,280 円/人	8,814 円/人	105.0
	⑦廃棄物のうち最終処分される割合	少なく	10.4%	10.6%	97.6
IV	⑧住民満足度	高く	56.7%	51.9%	91.5
V	⑨温室効果ガス総排出量	少なく	162,204t-CO2	167,983t-CO2	96.4
	⑩エネルギー回収率	高く	11.5%	11.2%	97.7

平成26（2014）年度の実績を100として、当該年度の実績を指数化し、レーダーチャートを使った分析を行いました。廃棄物処理事業全体として、バランスよく外側に大きい（指数が高い）ほど、施策が順調に進捗していると評価します。

指標（レーダーチャート）による達成状況の比較分析

レーダーチャート



- ※ 1 家庭系ごみ＋事業系焼却ごみ＋事業系資源物
- ※ 2 家庭系焼却ごみ＋事業系焼却ごみ＋道路清掃ごみ
- ※ 3 家庭系資源物＋事業系資源物
- ※ 4 かわさき市民アンケート
- ※ 5 廃棄物分野（収集運搬＋中間処理＋最終処分）

令和4年度の進捗状況

- レーダーチャートでは、「ミックスペーパー分別率」と「住民満足度」が低い指数となっています。
- ミックスペーパーについて、組成調査から推計する焼却量と、収集量を合わせた市民からの排出量は年々減少傾向にあり、ペーパーレス化の進行が伺えます。一方、「ミックスペーパー分別率」は減少傾向にあり、3割程度で推移しています。**資源に回すことのできるミックスペーパーの多くが焼却処分**されていることから、**分別率向上のため、効果的な普及啓発**をしていきます。
- 「住民満足度」は、令和元（2019）年度が東日本台風への対応、令和2（2020）年度は新型コロナウイルス感染症の影響がある中ごみ収集作業を継続したこと等が高く評価されてきました。令和4（2022）年度は51.9%と、アンケート対象項目の中でも1位（3年間連続）となりました。今後も質の高い行政サービスを提供するため、取組を進めていきます。
- このほか、レーダーチャートにおいて指数100を下回る項目についても、バランスよく施策を進めていきます。

※その他の計画における取組状況については、
令和5（2023）年度版 かわさき環境白書に掲載しております。